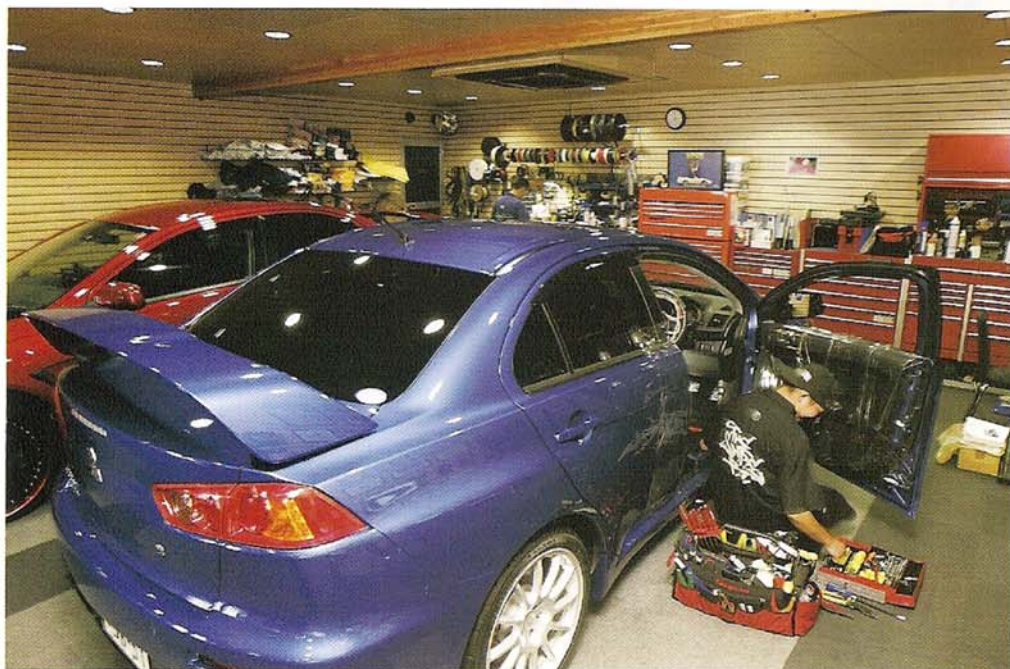


## サウンドコネクション プロデュース

VIPERの取り付け実績、ノウハウが豊富なだけにそれぞれの環境に見合ったシステムを構築してくれるショップでシステムをインストールする前段階がじつは重要な

## セキュリティシステムをセットしたからといってそれで終わりではなくさらなる手段を講じておく



**ガソリン代の高騰で乗らない人が増えた**  
「クルマが盗みにくくなっているにもかかわらず、車上荒らしは相変わらずです。とくに最近では住宅」における被害が多いようです」と語るのは、サウンドコネクションのベテランインストーラー、ヒデキさん。  
住宅ならば入けない時間がわかつているため、ねらう側からしたら格好のターゲットになるのだから。また、ガソリン代が高くなってからというもの、乗らずに駐車場に止め

つばなしという人も増えた。しばらくぶりにクルマに乗ろうと思つたら……なんてことも珍しいことではない。そう考えると、クルマは乗っていないときこそセキュリティが必要なのだと思得できる。  
「ランエボXですと、納車と同時に、という方が多いですね。駐車場の環境などで機種を選びますが、高い製品を取り付ければ安心、というわけではありません。ハンドルロックやタイヤチェーンといった視覚的な威嚇も必要。盗まれにくいクルマ作りが大切です」(ヒデキさん)

## VIPER 5000VB



### 駐車が住居と離れている人向け!

駐車場まで200mという中途半端な距離だったら、ランニングコストを考えたこの5000VBがオススメ。液晶リモコンにセキュリティがかかっているかどうかといった表示が出るので、わざわざクルマまで見に行かなくてもすむのだ。またクルマとの距離があるぶん、バックアップバッテリーを備えておきたい。そうすればバッテリーのコードを切断されてもセキュリティは作動するからだ。駐車場環境に合ったシステム選びが大切だ。

取り付け工賃を含め、価格は12万6000円から。双方向リモコンを備えるハイエンドモデルだ。セキュリティを入れたかどうか忘れてしまっても、手もとのリモコンで確認ができる。基本性能は1000Vと同様。

### 駐車場別に見る

### セキュリティシステムのススメ

自宅前だろうが集合駐車場だろうが、ねらわれることになら変わりはしない。自宅から離れた駐車場で、週末くらいしか乗らない、という人は自車の状態がわかる通信機能の付いたものが安心できる。アラームが鳴っていても離れていても気づかないから、リモコンに知らせてくれる機能は便利だ。とはいえ、バッテリーの消費はあるため長く乗らない場合はエンジンをかけに行くなどして対応する。自宅前でクルマをいつでも目視できるような場合なら、通信機能は必要ない。



さまざまなシステムによって異なるリモコン。いずれもシンプルで使いやすいように考えられている。リモコンにクルマの状況を知らせてくれるものは、液晶画面を採用している。純正キーレスと連動するタイプもある。